

2023年(令和5年)

12月号

No-2023-03

2023.12.31発行

広
報

Japan Practical Nurse Council

一般社団法人日本准看護師連絡協議会

准看協 News

特集 みんなで考えよう准看護師養成制度

1. 准看護師養成の現状

・厚生労働省が1月27日に公表した2020年の「衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況」より2020年末時点における就業准看護師数は28万4589人であり、年々減少の一途をたどっている(10年前と比較:8万3559人減少)。

・厚生労働省__看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査より

2022年末時点における准看護師課程の学校養成所(募集中止除く)数は182校であり、6県(福井県・秋田県・山形県・沖縄県・新潟県・岡山県)には准看護師学校養成所がない。

2. 准看護師養成制度の存続・維持のための支援

当会は、看護学校養成所や他団体との懇談を通して養成への協力等を求めつつ、准看護師を目指す人が増えるよう養成制度に関する情報や学校情報等の配信を行っている。

〈当年度実績<当会と秋田県看護協会との懇談の報告〉

2023.10.27に行なった懇談では、秋田県の准看護師の現状と今後の課題について意見を交わした。秋田県の就業准看護師数は年々減少しており、2020年末現在では2,904人となっている(2020年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況)。現在の当会会員数は64人と伸び悩み、秋田県看護協会の会員数は100人以下で減少傾向とのこと。2018年度に秋田県内の准看護師課程の看護学校養成所がなくなったことも、就業数及び会員数が減った一因といえる。当会としては、今後も准看護師養成制度の存続維持を支援し就業准看護師が増えることを望むが、秋田県看護協会は養成には賛同できないという。

准看護師の育成(生涯教育等)については、准看護師のスキルアップやモチベーション向上のためにも研修会等の実施は重要だとの見解が一致した。

報告者:豊島康弘(准看協会長)

▼ これからの人生で准看護師という選択肢 「選んでほしい准看護師への道」

当会は、准看護師の担う役割は大きいと考えており、今後も准看護師養成制度の存続維持を支援します。また、多くの人が准看護師の職業に興味をもち目指してもらえるよう取り組みを続けたいと考えています。今回は、当会の学生会員(准看護師課程に通学中)にメッセージをいただいたので、これからの職業の選択肢に加える参考にさせていただきたいです。

Aさん・茨城県在住

介護職の管理職をしていましたが、利用者への出来る事に制限もあり、自分が知識をつけ誰かの役にたたいと思ったことがきっかけで准看護師を目指しました。

勉強しながら、仕事や家事や子育てをする事はとても大変ですが、頑張ってやったことは全て自分にかえてくると思います。

Bさん・東京都在住

私は40代で准看護師の学校に通ってます。年齢で諦めてしまう人もいるかもしれませんが、年齢を気にせずに目指してほしいです。

Dさん・広島県在住

人体の身体を勉強するのって、とても楽しいです！一緒に頑張りましょう！

Cさん・埼玉県在住

私は介護福祉士の経験が10年になった時にステップアップとして准看護師を目指そうと思いました。学校によって求められるレベルが違うようです。カリキュラムなどよく調べることをお勧めします。

准看護師課程の看護専門学校養成所の全国一覧は右記のQRを読み取ってください。

